

# 飲酒検査義務化 対応進む

## あすから白ナンバー事業者

道交法施行規則の改正で、4月から自家用の「白ナンバー」の車を使う事業者に対し、従業員の飲酒の有無を対面などで確認することが義務付けられる。千葉県八街市で小学生5人が飲酒運転の大型トラックにはねられ死傷した事故を受けた措置で、岡山県内でも各事業者が対応を進めている。10月にはアルコール検知器を使った検査が義務化されるのに伴い、品薄になることが懸念される検知器を早めに確保しようという事業者もある。

### ◆道交法施行規則の改正のポイント

- 車を5台以上か、定員1人以上の車を1台以上使う事業者が対象
- 4月以降は飲酒の有無を顔色やにおいなどで確認。10月以降はアルコール検知器を使う
- リモートワークなどで対面が難しい場合は電話確認も可能
- 罰則はないが、安全運転管理者が解任される可能性がある

義務化の対象は、白ナンバーを5台以上か、定員11人以上の車を1台以上使う事業者で、運転の前と後に検査し、内容を記録して1年間保存。対応できない場合は電話などで確認する。違反に対する罰則はないが、安全運転管理者が解任される可能性がある。県警によると、今月4日現在、安全運転管理者を選任して公安委員会に届け出ている白ナンバー事業者は5731ある。

## 運転者に確認し記録保存 検知器確保の動きも

青江は4月1日から、飲食店やホテルなどに食材を運ぶ小型トラック約50台のドライバーに対面チェックを始め、4、5人のグループごとにリーダーが顔色やにおいなどを確認。チェック表に記入し保管する。同社は「規則順守のため手間が掛かるのは仕方がない。これまで通り安全運転を徹底する」としている。高齢者の送迎や訪問で約300台の車を運用する介護サービスの創心会(倉敷市茶屋町)も1日から、各事業所の管理者らが運転者に目視などで確認し、記録簿を作成する。アルコーン(岡山市北区)は「アルコール検知器での検査義務化にも備え、10月までに約450万円をかけて検知器を約40台に導入する」という。県内の住宅メーカーも検知器を10月から使う予定だが、広報担当者は「品薄で納入が遅れる可能性もある。メーカーや機種を検討を急ぎ、早めに確保したい」と話す。県警によると、飲酒運転による人身事故は昨年、県内で25件あり、うち1件が死亡事故だった。県警交通安全課は「飲酒運転は人の命に関わる重大事故につながる。検査で確認を徹底してほしい」としている。

岡山県内の交通事故(県警調べ)

区分	29日	本年累計
人身事故(件)	17	1032(-87)
死者(人)	0	20(+11)
うち高齢者	0	12(+7)
負傷者(人)	16	1152(-90)

累計のかつこ内は前年比。取り締まり強化中

**4/2土から開催 第38回倉敷市長杯**

本場レース期間中は3場併売  
児島ガーコピアでは  
モーニングからナイターまで  
最大10場発売中

※児島本場開催レースも発売中!  
ガーコピア営業時間7:30~21:00

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
このほか

## 列車で玉野観光案内

### 宇野行き下り「ラ・マル」せとうち



観光案内動画の一場面(JR西日本岡山支社提供)

## 来月2日からJR スマホに名所、グルメ動画

JR西日本岡山支社は4月2日、岡山駅から瀬戸内各地へ旅する観光列車「ラ・マル・ド・ボア」で動画で観光案内する新サービスを始める。宇野行きの下り「ラ・マル」せとうち」に乗車中の利用客に向け、列車の位置に合わせて玉野市の観光スポットやグルメを紹介する動画をスマートフォンへ配信する。乗客は、車内に掲示されたQRコードを読み取り、スマホで特設サイトに接続。位置情報機能を利用して、おおよそ、大元、茶屋町、常山、八浜など7駅の周辺で動画が1本ずつ自動的に再生される。動画は各1〜3分程度。地元産フルーツを使ったかき氷店などのグルメ(妹尾駅)、浜川海岸周辺のスポット(常山駅)、海沿いのサイクリングコース(早鳥駅)といった情報を提供。大元駅では、玉野の吹奏楽部がオリジナル曲「ラ・マル・ド・ボアに寄せて」を演奏する動画も配信する。

岡山市は30日、大規模改修中の岡山城(同市北区丸の内)の再オープンPRするポスターのキャッチコピーが「ただいま岡山。おかえり岡山城。」に決まったと発表した。応募総数4178点のうち最優秀賞とした。ポスターは5月にお披露目する。

## 「ただいま岡山。おかえり岡山城。」

同社は「岡山市へ旅をより楽しむきっかけにしてほしい」と呼び掛ける。8月の金土日土に走る。運行初日の2日には、(立田さくら)

再オープンPRコピー最優秀賞

## 男性の労災認定

### 労基署処分取り消し

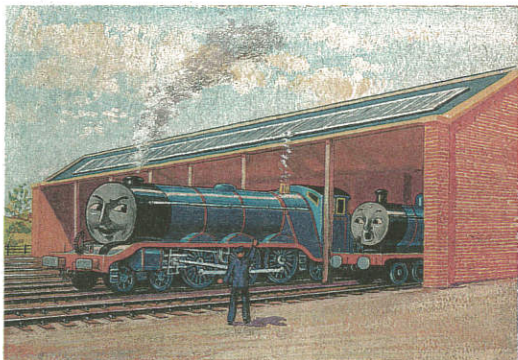
業務のストレスでうつ病を発症したとして、浅口市の30代男性が休業補償を不支給とされた岡労基署の処分取り消しを国に求めた。岡山地裁は2013年、建築資材販売などの県内企業に入社。配送業務に従事後、15年に同社経営のラーメン店へ配置転

換された。体調を崩し、16年5月にはうつ病と診断。同労基署に休業補償の支給を求めたが、11月に「業務による強い心理的負荷がある認められない」などと不支給の処分を受けた。田中俊行裁判長は判決理由で、ラーメン店への異動などが「大きな心理的負荷を生じさせた」と指摘。男性が、仕事に向いていないと

## きかんしゃトーマス展

### ④ ゴードン

ゴードンは大きな機関車です。お客さんをたくさん乗せた急行列車もひとりで引っぱりまわす。力持ちのゴードンですが、あるとき、丘の途中で立ち往生し、小さい機関車エドワードに後ろから押しもたせて頂上にたどりつきます。このエピソードが描かれた「エドワードとゴードン」(第一巻)は、ひとりでは不可能なことも、お互いに協力し合えば成し遂げることができると、このことを教えて



レジナルド・ダルビー「エドワードとゴードン」1945年 ©2022 Guilianne(Thomas) Limited.

くれませす。ソドー島ではゴードンが立ち往生したこの丘を「ゴードンの丘」と呼んでいます。機関車たちが暮らすソドー島は架空の島ですが、作者のオードリー牧師は鉄道に詳しく、イギリスを実際に走る機関車をモデルに物語に登場する機関車を描いたと言われています。

(岡山シティミュージアム学芸員・野崎友加里)

「きかんしゃトーマス展」(山陽新聞社など主催)は5月8日まで、岡山シティミュージアム(岡山市北区駅元町)で開催。5月2日をその月曜休館。

大森市長(右)に提言書を手渡す山根教授



## 文学で心豊かなまちに

岡山市へ産学官有志要望

## ユネスコ加盟申請提言

が30日、心豊かなまちの推進のため、岡山市を提言した。地元の産学官有志が、ユネスコ加盟申請を提言する。提言の児童(12年)学賞活用し